

# 在宅取組型(乳幼児学級)

学校名等	恵那市笠置乳幼児学級
実施日時	令和2年6月・7月・8月の第1第3木曜日
会場	恵那市笠置コミュニティーセンター
参加人数	延べ67名(6回)
学習課題(分野)	笠置乳幼児学級ゆずっこ(命の大切さ・思いやり)
運営者の願い	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、乳幼児学級が中止になっている中、今できることを考え、みんなで工夫しながら子育てと仲間づくりをしたいという思いから、オンライン乳幼児学級を始めた。

## 学習の内容

今、できることを、みんなで工夫しながら、子育てを学び合い、仲間づくりを大切に乳幼児学級

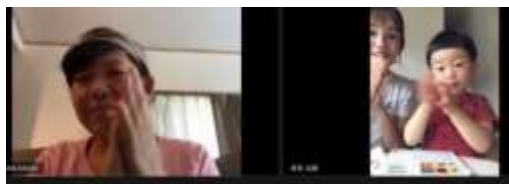
<取組内容>

正副乳幼児学級長や Web システムが得意な保護者が、40分間の流れやテーマを計画して、SNS で連絡を取り合って運営した。家にいながら、一つの画面の中で楽しく開催することができた。

6月4日 今年度の目標の交流をした。

6月18日 セタの願いを公表できるように連絡し、参加者は紙に願い事を書いて準備した。そして、絵本の読み聞かせや誕生日会も行った。

7月・8月 歯科衛生士さんに「食べることは生きること」をテーマに、10分間の映像を作っていただき、3回に分けて学んだ。



オンラインの画面

セタの願いを紙に書いて、オンラインで発表した。

手形・足形スタンプデザインTシャツを、今年は家で作った。足形を使ったスイカや自動車、ペンギン。手形を使ったお花や恐竜など、工夫がいっぱいのTシャツができ、楽しく交流することができた。



←黄色の手形で↓ひまわりの花

<取組を振り返って>

絵本の読み聞かせでは、当番のお母さんが画面に向かって読み聞かせを始めると、子ども達が一瞬にかわいい声で「よいしょ!」と声をかけた。画面の中から、子ども達のかわいい姿が伝わり、温かい心を楽しめる心共有することができた。

オンラインは映像と音声があるので、笑い声やおしゃべり、時にはぐずっている様子も分かり、元気に過ごしていることや成長の様子を互いに知ることができ、安心感が生まれた。



## オンラインの活用

オンラインの良さを活用して、家で取り組んだセタの願い事や、デザインTシャツを発表し合いました。乳幼児学級に出かけて行かなくても、家で、保護者同士が顔を見合いながら、乳幼児学級が開催できました。



## 会えなくても仲間と一緒に

顔を見て、声を聞いて、一緒に活動ができ、共に子どもの成長を確かめ合うことができました。保護者も子どもも、「仲間と一緒に」という安心感をもつことができました。



## 今、できることを考える

幼い子どもを育てているお母さん達にとって、コロナ禍で子どもと家にこもっている生活の中で、親子で心のリフレッシュをし、子育てへの安心感をもつことが必要でした。乳幼児学級について、「できないからやらない」ではなく、「できないならできることを」と考えて、工夫して開催したことが、親子の笑顔につながりました。